

村・畑の案内所

優秀賞受賞！

「わが村は美しくー北海道」運動
第7回コンクール 札幌開発建設部ブロック 表彰状伝達式



新篠津村・農業観光生産者協議会が「わが村は美しくー北海道」運動 第7回コンクールにおいて、優秀賞を受賞しました。
今年で7回目となる同コンクールでは、全13の応募団体（札幌開発建設部管内）の中から優秀賞2団体、奨励賞4団体が選出されました。

「わが村は美しくー北海道」運動とは

北海道開発局が、道内各地での住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村の発展に寄与することを目的に推進しているものです。

また、この運動の一環として、平成14年から2年に一度コンクールを開催しています。

村・農業観光生産者協議会のはじまり

村・農業観光生産者協議会のはじまりには、二つの理由があります。

まず一つ目は、しんしのつ温泉たつぶの湯が道の駅になり、たつぶの湯の利用者数は大幅に増加したものの、その多くは、道の駅のスタンブラリーが目的であり、滞在時間は約5分と極めて短いものでした。

二つ目に、「自分たちのお

いしい農産物を村外の人にももっと知ってほしい」という農家の方の声がありました。

これらの課題を乗り越えるために、たつぶの湯小岩料理長が中心となり、農家の方や役場、観光協会、JA新しのつに呼び掛けて発足させました。

村・農業観光生産者協議会の主な活動は

「畑の案内所」では、家族連れも多く訪れ、観光客の希望に合わせて農家を紹介しています。そして、消費者や子どもたちに収穫体験をしてもらうことによって、農業とそこから生まれる食物の大切さを理解してもらえるように活動しています。

また、収穫体験のほか、村の農産物を道央圏以外の人にもPRする活動を行っており、同内外のホテルや百貨店等への村内産の農産物の出荷や、旅行会社のバスツアーでの車

内販売に取り入れてもらっています。

さらに、村内産の農産物を主材料とした加工品の開発、販売にも取り組み、「新篠津村」をブランド化する活動を行っています。

村の農産物を

新たな観光資源に

「畑の案内所」が新設されたことがきっかけで、人口が約3,400人の当村に毎年5,000人ほどの「畑の案内所」の利用客が訪れるようになりました。このようにして、「畑の案内所」収穫体験を通じて、観光客が村内の各所に足を運び、新たな人の交流が生まれています。

農家の方と観光客がふれあうことにより、生産者の農産物に対する責任感が更に強くなり、やりがいにもつながっています。